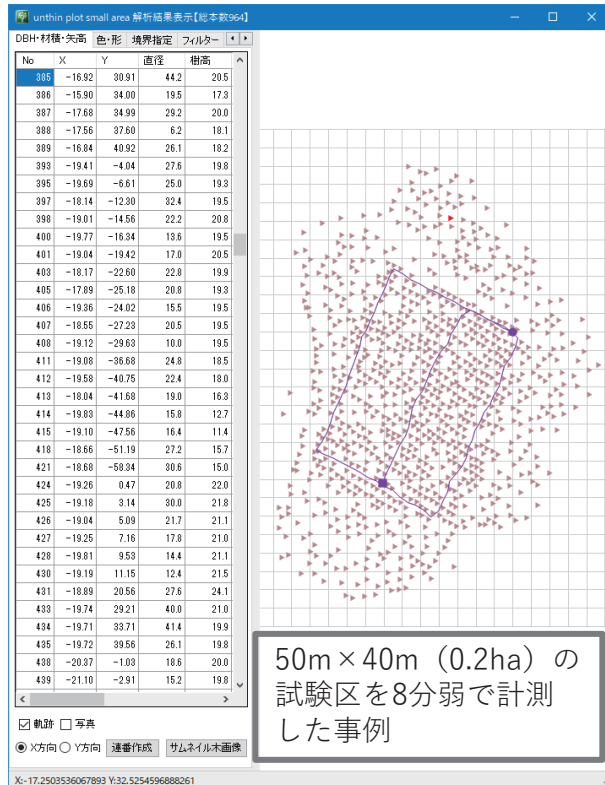


背負子型レーザースキャナーの 使い方と注意点



- スキャン時には歩行軌跡の一部を10m程度オーバーラップさせる。そのためにあらかじめ歩行ルートを決めておく
- スキャナーの向きが変わる曲がり角では歩行速度を十分に低下させる。一旦立ち止まるのが望ましい
- 本体における点群データの生成処理には長時間を要し、処理中には計測作業を実施できない。計測とその後のデータ処理を効率的に行うための適切な作業計画が必要である。そのため以下の点に注意が必要である

①効率的に点群データを処理するために、1回の計測を10分以内でおこなう

②点群データの生成処理を事務所帰着後等の空き時間に実施できるように計画する

- 下層植生が多く林内の見通しが悪いと、点群の合成に失敗したり、計測精度が低下することがある

